

# 小学3年 思考力テスト — 解答と解説

## 1

(1)				(2)			
12	月	19	日	金	曜日	土	曜日
21				22 (完答)			

## 2

(1)			
ア	10	イ	50
23		24	

(2)			
①	5	②	ア セ
25		26 (完答)	

## 3

㊶	え	㊷	え	㊸	う	㊹	う
27		28		29		30	

㊺	え	㊻	え	㊼	あ
31		32		33	

**4**

【例】

(1)	た	ち	の	り	は	き	け	ん	だ	か
	ら	や	め	よ	う	ね				

34

【例】

(1)	ほ	ど	う	は	ほ	こ	う	し	や	の
	た	め	の	ど	う	ろ	で	す		

35

【例】

(2)	わ	た	し	は	、	魚	の	名	前	を
	お	ぼ	え	る	た	め	の	カ	ル	タ
	を	つ	く	り	た	い	と	思	い	ま
	す	。	魚	は	に	が	手	な	の	で、
	カ	ル	タ	に	す	れ	ば	楽	し	く
	魚	の	名	前	を	お	ぼ	え	ら	れ
	て	魚	を	す	き	に	な	る	と	思
	う	か	ら	で	す	。				

36

配点

㉒……各6点×4

㉓(1)……各8点×2 (2)……15点

その他……各5点×9

計100点

【解説】

① (規則性)

(1) **B1** 情報を獲得する 特徴的な部分に注目する

3日間の日付は連続しているので、出発する日を○日とすると、次の日は(○+1)日、その次の日は(○+2)日となります。

ですから、 $\text{○} + \text{○} + 1 + \text{○} + 2 = 60$  となる日付をさがせばよいことがわかります。

$$60 - 2 - 1 = 57 \cdots \cdots \text{○}3\text{つ分の合計}$$

$$57 \div 3 = 19 \cdots \cdots \text{○にあてはまる数}$$

よって、まゆみさんのおばあさんがまゆみさんの家に来る日は12月19日です。

(ほかの考え方)

もし、まゆみさんのおばあさんがまゆみさんの家に来る日が1日だとすると、3日間の日付の合計は、 $1 + 2 + 3 = 6$ となります。

また、もし、まゆみさんの家に来る日が2日だとすると、3日間の日付の合計は、 $2 + 3 + 4 = 9$ となります。

このように、まゆみさんの家に来る日が1日ずれると合計は、 $9 - 6 = 3$ だけ大きくなることがわかります。

$60 - 6 = 54$   $54 \div 3 = 18$  なので、1日から18日ずらした19日にまゆみさんの家に来ることがわかります。

(2) **B1** 情報を獲得する 特定の状況を仮定する

2024年12月のカレンダーを見ればわかるように、1日が日曜日であれば1か月分の日付を表すのに5行ひつようになります。もし、1日が1つ前にずれた土曜日だとすると、31日の曜日も1つ前にずれて月曜日になり、1か月分の日付を表すのに6行ひつようになります。もし、1日がさらに1つ前にずれた金曜日だとすると、31日の曜日も1つ前にずれて日曜日になり、1か月分の日付を表すのに6行ひつようになります。さらに1日が1つ前にずれた木曜日だとすると、31日の曜日も1つ前にずれて土曜日になり、1か月分の日付を表すのにひつような行が5行になります。よって、金曜日と土曜日が答えになります。

1日を1つ前にずらしたとき

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

1日を2つ前にずらしたとき

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

1日を3つ前にずらしたとき

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

② (数のパズル)

(1) **B1** 情報を獲得する 再現する 調べる

$30 = 10 \times 3$  ですから、合計が30円のたての列には、10円が3つ入ります。したがって、アに10円が入ることがわかります。

すると、合計が20円の横の列は、左から(5円、5円、10円)とわかります。

図1

			合計
		10	65円
	イ	10	70円
5	5	10	20円
合計	65円	60円	30円

ここまででわかったことを書くと、**図1**のようになります。

次に、 $60 = 5 + 5 + 50$ と $70 = 10 + 10 + 50$ から、合計が60円のたての列と合計が70円の横の列が交わるイに50円が入ることがわかります。つまり、合計が60円のたての列は、上から(5円、50円、5円)、合計が70円の横の列は、左から(10円、50円、10円)となります。

最後に残った1つの○には50円が入り、**図2**のようになります。

図2

				合計
	50	5	10	65円
	10	50	10	70円
	5	5	10	20円
合計	65円	60円	30円	

(2) **B2** 順序立てて筋道をとらえる 特定の状況を仮定する 調べる

①  $20 = 5 \times 4$ ですから、合計が20円の横の列には、5円が4つ入ります。

したがって、キは5です。

②  $35 = 10 + 10 + 10 + 5$ から、合計が35円のたての列は、上から(10円、5円、10円、10円)とわかります。ここまででわかったことを書くと、**図3**のようになります。

図3

				合計	
	ア	イ	10	エ	75円
	5	5	5	5	20円
	ケ	コ	10	シ	30円
	ス	セ	10	タ	80円
合計	75円	65円	35円	30円	

次に、 $65 = 5 + 5 + 5 + 50$ と $80 = 10 + 10 + 10 + 50$ から、合計が65円のたての列と合計が80円の横の列が交わるセに50円が入ることがわかります。つまり、合計が65円のたての列は、上から(5円、5円、5円、50円)、合計が80円の横の列は、左から(10円、50円、10円、10円)となります。ここまででわかったことを書くと、**図4**のようになります。あとは、合計が75円のたての列と合計が75円の横の列が交わるアに50円、エとケに10円が入ることがわかり、**図5**のように、すべて決まります。

図4

				合計	
	ア	5	10	エ	75円
	5	5	5	5	20円
	ケ	5	10	シ	30円
	10	50	10	10	80円
合計	75円	65円	35円	30円	

図5

				合計	
	50	5	10	10	75円
	5	5	5	5	20円
	10	5	10	5	30円
	10	50	10	10	80円
合計	75円	65円	35円	30円	

③ (表の読み取り) B1 情報を獲得する 調べる

問かれていることに答えるために、表のどこに注目すればよいのか、それぞれたしかめていきましょう。

- ㊦ 表の日曜日～土曜日の合計に注目します。このうち、来店した人数の合計がもっとも多い曜日は土曜日だとわかります。
- ㊧ ㊦と同じく、日曜日～土曜日の合計に注目します。このうち、来店した人数の合計がもっとも少ない曜日は木曜日だとわかります。
- ㊨ 表の合計に注目します。日曜日～土曜日の1週間で、来店した人数の合計は10158人だとわかります。

時間帯			日	月	火	水	木	金	土	合計
①	午前	10時～12時	389	191	144	117	147	207	296	1491
②	午後	0時～2時	317	154	187	201	161	222	246	1488
③	午後	2時～4時	365	313	321	279	262	249	382	2171
④	午後	4時～6時	200	332	368	284	273	313	397	2167
⑤	午後	6時～8時	149	264	222	246	268	258	435	1842
⑥	午後	8時～10時	99	127	134	97	106	173	263	999
合計			1519	1381	1376	1224	1217	1422	2019	10158

- ㊩ 月曜日～金曜日の時間帯に注目します。このうち、来店した人数がもっとも多い時間帯は時間帯④とわかります。
- ㊪ ㊩と同じく、月曜日～金曜日の時間帯に注目します。このうち、来店した人数がもっとも少ない時間帯は時間帯⑥とわかります。

時間帯			日	月	火	水	木	金	土	合計
①	午前	10時～12時	389	191	144	117	147	207	296	1491
②	午後	0時～2時	317	154	187	201	161	222	246	1488
③	午後	2時～4時	365	313	321	279	262	249	382	2171
④	午後	4時～6時	200	332	368	284	273	313	397	2167
⑤	午後	6時～8時	149	264	222	246	268	258	435	1842
⑥	午後	8時～10時	99	127	134	97	106	173	263	999
合計			1519	1381	1376	1224	1217	1422	2019	10158

- ㊫ 土曜日の時間帯に注目します。このうち、来店した人数がもっとも多い時間帯は時間帯⑤とわかります。
- ㊬ ㊫と同じく日曜日の時間帯に注目します。このうち、来店した人数がもっとも多い時間帯は時間帯①とわかります。

時間帯			日	月	火	水	木	金	土	合計
①	午前	10時～12時	389	191	144	117	147	207	296	1491
②	午後	0時～2時	317	154	187	201	161	222	246	1488
③	午後	2時～4時	365	313	321	279	262	249	382	2171
④	午後	4時～6時	200	332	368	284	273	313	397	2167
⑤	午後	6時～8時	149	264	222	246	268	258	435	1842
⑥	午後	8時～10時	99	127	134	97	106	173	263	999
合計			1519	1381	1376	1224	1217	1422	2019	10158

4 (短文づくり) C1 知識 推論 具体・抽象

- (1) 自転車<sup>じてんしゃ</sup>を安全<sup>あんぜん</sup>に運転<sup>うんてん</sup>するためのカルタの読みふだをつくります。ルールやマナーなど、学校や家で学んできたことや、経験<sup>けいけん</sup>してきたことから、「た」や「ほ」から始<sup>はじ</sup>まる文を考えましょう。

この問題<sup>もんだい</sup>では、①自転車を安全に運転するための文になっているか、②①に過不足<sup>かふそく</sup>がなく、表記<sup>ひょうげん</sup>や表現<sup>あらわ</sup>に誤りがないかどうかを中心にしています。

- (2) 何のためのカルタをつくるか記述<sup>きじつ</sup>する問題です。自分が、どんなことのためにカルタをつくりたいのか考えてみましょう。

この問題では、①どんなカルタなのかわかる文になっているか、②①についての理由が書かれているかどうか、

③①・②に過不足がなく、文章の整合性<sup>せいごうせい</sup>に誤りがないかどうか、④マス目の使い方が正しいかどうか、⑤表記<sup>ひょうげん</sup>や表現<sup>あらわ</sup>に誤りがないかどうか、⑥60字以上80字以内<sup>いじょう</sup>で書かれているかどうかを中心にしています。(ただし、40字以上60字未満<sup>みまん</sup>は、内容①～③のみ採点<sup>さいてん</sup>し、40字未満<sup>すべ</sup>は全て採点対象<sup>たいしょう</sup>としません)